

Konica II

Newest Model
**PRECISION
CAMERA**

DIRECTION for USING

WELCOME to the
ranks of
Good Camera
owners You...

Konica II

新装高精度の35

耗カメラ“コニ

カII”は他の如何なる高級カメラ
と比較しても、その性能に於て、
いささかも遜色のないものです。

充分に研究されたレンズ、シャ
ッター、距離計の装備されている
コニカIIはどんな条件の場所や時
間に於ても、真に満足のゆく鮮鋭
な寫眞を撮る事が出来ます。

KONICOAT
HEXANON F/2.8 LENS

Konica II レンズ

5枚玉構成無収差

のコンニコート ヘキサノン・F2.8 50耗レン

ズは、中心部周辺部ともに極めて優れた描寫

力をもち、畫像のきり込みが実に見事で、ス

ッキリした寫眞を得ることが出来ます。その

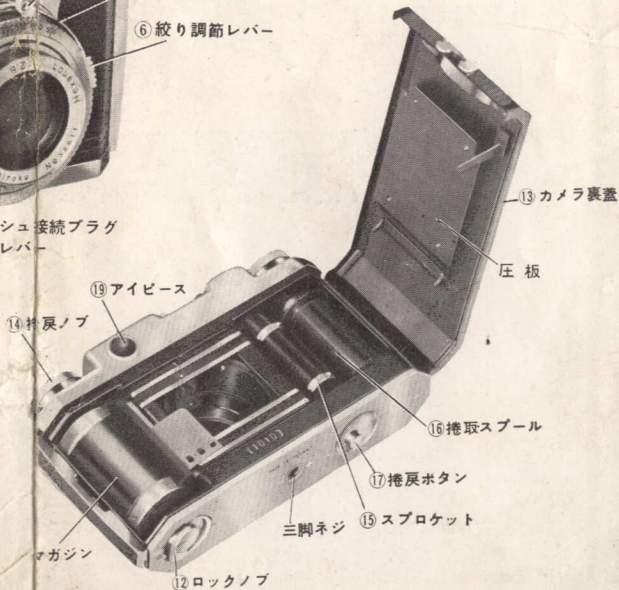
上、デイスーションや像の歪が極めて少く

測量用としても使用することが可能です。又

天然色撮影に使用した場合には、色のはみ出

し無く、フレーヤー少く周辺光量の大きいこ

とと合せて、素晴らしい効果を發揮します。



Konica II

THE SHUTTER

シャッター

“コニカII”はコニラビット-Sシャッターが装備されて居ります。

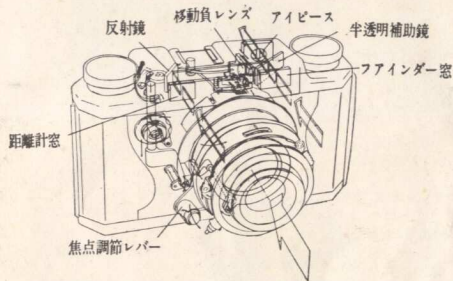
コニラビット-SはB, 1, 1/2, 1/4, 1/8, 1/10, 1/15, 1/20, 1/30, 1/60, 1/125, 1/250, 1/500, 秒の各速度を有するコンパタイプシャッターで、特に精度の良好なフラッシュガン同調装置が内臓されて居りますから、確実なシンクロ撮影が可能です。効果は極めて優秀でフォーカスブレン等他種シャッターを遙に凌駕して居り、又ギヤその他の部品はすべて精密機械加工をほどこしたもので、精度と耐久力に於て特にすぐれて居ります。

距離計

コニカIIの距離計は獨特の單眼三重膜反射鏡式補色距離計です。二重像合致式距離計の半透明鏡には“補色鏡”が使用してありますから、増透、増反射効果のため視野が非常に明るく、二重像は完全な補色即ち黄色像と紫色像となつて見えるのでそのズレが明確であり、合致した時には自然光となりますので判定が極めて正確容易です。

光学的及び機械的構造に特別な工夫が行われて居りますので、F 2.8レンズに対してもレンズとの連動誤差がありません。従つて高精度のピント調整が可能であり、極めて鮮鋭な寫眞を撮影することが出来ます。

コニカの距離計はこのように働きます



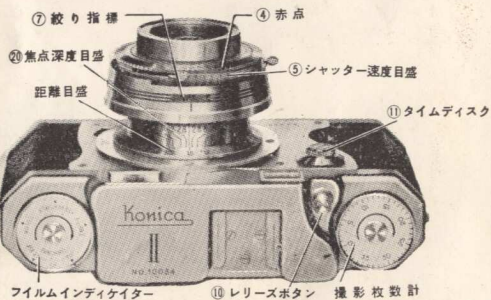
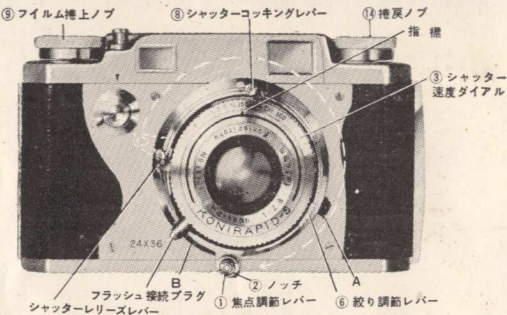
撮影レンズを前後進させると直接に移動レンズが動いて光線の方向が変化します。



焦点が合わない時



焦点が合った時



二重露出防止

フィルムの捲上げとシャッターのセットとの両方を
行わなければ、ボディ・リリースボタンを押すことが
出来ません。

安全装置

焦点調節の出来る位置迄レンズマウントを繰出さな
ければ、ボディ・リリースボタンを押すことが出来ま
せん。

◀ HOW TO MOVE LENS MOUNT

レンズマウントの繰出し

焦点調節レバー(1)を図示の矢印の方向に回転すると、
レンズマウントを繰出すことが出来ます。調節レバー
はB即ち最短撮影距離の位置の所で止り、それから逆
の方向に回転しますとA即ち無限遠の位置で止ります。
このAとBとの間が焦点調節を行う範囲です。

レンズマウントを繰戻すには、レバーの先端にある
ノッチ(2)を上方に軽く指先で持上げて、レバーを回転
しますとレバーはAの位置で止らず元の所迄回転して
行くことが出来ます。

◀ HOW TO OPERATE SHUTTER

シャッターの操作

シャッター速度ダイヤル(3)を回転し、ダイヤル上の
数字を前面の指標に合せて、シャッターの速度調節を
行います。又ダイヤル端面上の赤ボチ(4)をシャッター
上側の目盛(5)に合せても、速度調節を行うことが出来
ます。

絞りの調節は、絞り調節レバー(6)をシャッター側面
にそうて動かして絞りの文字(Fナンバー)を指標(7)
に合せます。

シャッターコッキングレバー(8)を右方に止る所迄押
上げると、シャッターをセットすることが出来ます。
次に、フィルム捲上ノブ(9)を回転してフィルムを1
駒捲上げ、ボディ・リリースボタン(10)を押すとシャッ
ターをきる事が出来ます。この場合即ち1秒からB
迄の露出では、タイムディスク(11)はIの位置に合せて
おきます。

タイム露出を行おうとするときは、シャッター速度
ダイヤルを回転してBに合せ、タイムディスク(11)をI
からTに回転しておいて、上記の方法でシャッターを
セットしてリリースボタンを押しますと、シャッター
は開放のままとなります。それからタイムディスクを
TからIに戻しますとシャッターは閉じ、タイム露出を
行うことが出来ます。

裏蓋の開閉

図示のように、ロックノブ(12)を起し、回転して矢印をOに合せ、ロックノブをその方向に倒してその上から指先で押すとカメラの裏蓋(13)は軽く飛び出します。

裏蓋を閉じるには、ロックノブを開いたときと同じ位置にしたまゝで裏蓋を少しく強く押し、閉じることが出来ます。それからロックノブを起し前と逆の方向に回転して矢印をCに合せてからその方向に倒しておきます。

注意 裏蓋は、ロックノブの矢印をOの位置にして閉じ、裏蓋を閉じてしまつたらロックノブの矢印をCの位置迄必ず回転して下さい。

マガジンの装填

裏蓋を図示のように開き、捲戻ノブ(14)を充分外方に引出し、から、マガジンの頭部を手前にし、窓を上部に向けて、フィルムチャンパー内に正しく落とし込みます。それから捲戻ノブを元の位置迄押込みます。

フィルムはマガジンから引出し、反対側にある捲取スプール(16)の溝にフィルムの先端を挿込み、パーフォレーション(フィルムの孔)をスプロケットの歯に合せながら捲取ノブ(9)を回転してフィルムをスプールに確実に1,2回捲付けます。

それから裏蓋を閉じ、さらにフィルムを2回捲取ります。そして捲取ノブ上部の撮影枚数計を回転して目盛をOに合せておきます。

注意 フィルムを捲取スプールに捲付けるときに、レンズマウントを繰出してシャッターをタイム露出の状態即ちボディレリーズボタンを押したまゝの位置にしておくと、フィルムの捲取りが自由に出来て便利です。

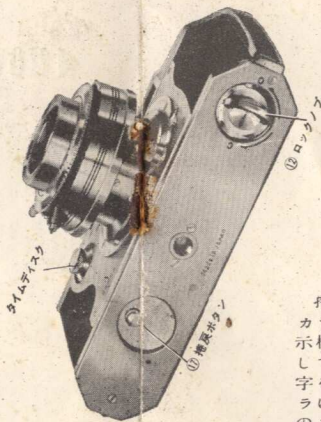
マガジンの出し方

撮影枚数計の目盛が撮影後36になつた場合、又はフィルムが捲けなくなつたときは、フィルムが終りになつたわけですから、無理して捲取ノブを回転しないでフィルムを捲戻します。

捲戻ボタン(17)を押しながら捲戻ノブを矢印の方向に回転しますと、フィルムは元のマガジンに捲戻することが出来ます。フィルムを全部捲戻してしまつたら裏蓋を開いて捲戻ノブを外方に引出し、マガジンを取り出します。

フィルムインディケイター

捲戻ノブの上部に、バンクロー、クローーム、カラー、反転等の文字を記入したフィルム指示板が取付けられてあります。カメラに装填してあるフィルムの種類に従つてこれらの文字を外周上の指標に合せておきますと、カメラにフィルムが入っているかどうか、又はそのフィルムが何本であるかをメモしておくことが出来て、露出をきめたりするときなどに便利です。



深度表

Konica II

コニコート ヘキサノン F2.8 50mm

TAKING A PICTURE

撮 影

先ず焦点調節レバーを回転してレンズマウント(18)を繰出し、シャッター速度ダイヤルを回転してシャッター速度を合せ、絞りを調節してから、シャッターをセットします。拇指を裏蓋に当て、両手でしっかりとカメラを握ります。左手の中指又は人差指を焦点調節レバーに当て、左の眼でアイピース(19)から正しくファインダーを覗きながら、被写体の二重像が合致する迄焦点調節レバーを動かして距離調節を行います。それから構図をきめ、右手の人差指でボディ—リリースボタンを静かに押してシャッターをきります。撮影が終了しましたら捲取ノブを回転してフィルムを1駒送つておきます。

注意1 ケーブルリリースを使用する場合は、リリースボタンのキャップを引抜きますと、ボタン内部にリリースネジがありますから、そこへねじ込みます。

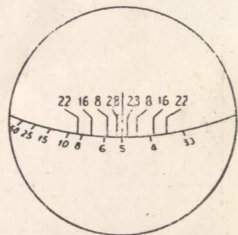
2 タイム露出の場合やシャッターをきった後でシャッターボタンを押したままレンズマウントを繰戻さないで下さい。

FOCUSSING

焦点深度

焦点深度目盛(20)は、図示のように、中央の指標で示された撮影距離での、各絞り(F値)の大きさに応じた焦点の合う距離の範囲を表示します。

次の焦点深度表はその範囲を正確に数字で示したものです。



絞り F 距離 NO. 目盛 呎	2.8	3.5	4	5.6	8	11	16	22
3.3	3' 2" 3' 5"	3' 2" 3' 5"	3' 2" 3' 6"	3' 1" 3' 6"	3' 0" 3' 8"	2' 11" 3' 9"	2' 9" 4' 0"	2' 8" 4' 5"
4	3' 10" 4' 2"	3' 10" 4' 2"	3' 9" 4' 3"	3' 8" 4' 4"	3' 7" 4' 6"	3' 6" 4' 9"	3' 3" 5' 3"	3' 0" 5' 11"
5	4' 9" 5' 3"	4' 8" 5' 4"	4' 8" 5' 5"	4' 6" 5' 7"	4' 4" 5' 10"	4' 2" 6' 3"	3' 10" 7' 1"	3' 7" 8' 6"
6	5' 8" 6' 5"	5' 7" 6' 6"	5' 6" 6' 7"	5' 4" 6' 10"	5' 1" 7' 4"	4' 9" 8' 0"	4' 5" 9' 5"	4' 0" 12' 1"
7	6' 6" 7' 7"	6' 5" 7' 9"	6' 4" 7' 10"	6' 1" 8' 3"	5' 9" 8' 11"	5' 5" 9' 11"	4' 11" 12' 4"	4' 5" 17' 2"
8	7' 4" 8' 9"	7' 3" 8' 11"	7' 1" 9' 1"	6' 10" 9' 8"	6' 5" 10' 7"	6' 0" 12' 1"	5' 5" 15' 11"	4' 10" 25' 5"
10	9' 0" 11' 2"	8' 10" 11' 7"	8' 9" 11' 10"	8' 3" 12' 10"	7' 8" 14' 6"	7' 0" 17' 6"	6' 2" 26' 11"	5' 5" 75' 2"
15	12' 11" 18' 0"	12' 5" 18' 11"	12' 0" 19' 8"	11' 4" 22' 6"	10' 2" 28' 8"	9' 1" 43' 8"	7' 9" 361'	6' 7" ∞
25	19' 6" 34' 10"	18' 6" 38' 6"	17' 11" 41' 10"	16' 0" 57' 2"	13' 11" 128'	11' 11" ∞	9' 8" ∞	7' 11" ∞
50	31' 11" 116'	29' 4" 171' 11"	27' 8" 265'	23' 6" ∞	19' 2" ∞	15' 7" ∞	11' 11" ∞	9' 3" ∞
∞	87' 10" ∞	70' 3" ∞	61' 6" ∞	44' 0" ∞	30' 11" ∞	22' 7" ∞	15' 7" ∞	11' 6" ∞

KONICOAT HEXANON F/2.8 LENS

絞りF. NO. 距離 目盛米	2.8	3.5	4	5.6	8	11	16	22
1.0	0.97 1.03	0.96 1.04	0.95 1.05	0.94 1.07	0.92 1.10	0.89 1.15	0.85 1.23	0.80 1.35
1.2	1.15 1.25	1.14 1.26	1.14 1.27	0.11 1.30	1.08 1.36	1.24 1.43	0.98 1.56	0.92 1.76
1.5	1.43 1.58	1.41 1.60	1.40 1.62	1.36 1.67	1.31 1.76	1.05 1.88	1.16 2.13	1.07 2.54
2.0	1.87 2.15	1.84 2.19	1.82 2.22	1.75 2.33	1.67 2.56	1.57 2.77	1.43 3.37	1.30 4.55
3.0	2.71 3.36	2.64 3.47	2.60 3.55	3.47 3.83	2.30 4.35	2.11 5.25	1.86 9.04	1.63 21.86
5.0	4.22 6.13	4.07 6.50	3.96 6.79	3.66 7.93	3.28 19.61	2.91 18.42	2.45 ∞	2.06 ∞
10.0	7.28 15.99	6.82 18.81	6.53 21.52	5.73 40.06	4.85 ∞	4.07 ∞	3.21 ∞	2.57 ∞
∞	26.46 ∞	21.18 ∞	18.65 ∞	13.28 ∞	9.32 ∞	6.81 ∞	4.71 ∞	3.45 ∞

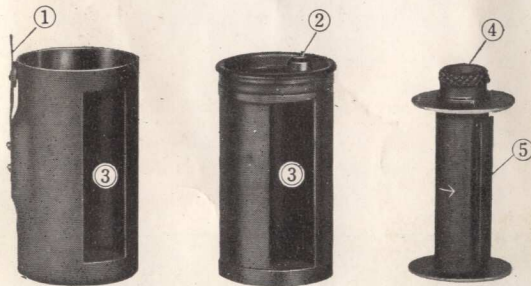
専用マガジンの使い方

外筒のバネ①を指先で外方に持ち上げ、内筒の頭部のノブ②を指先にかけて内筒を右に約半回転、止る所まで廻すと外筒、内筒の窓③が一致します。それからスプールの頭部④を上げると内筒とスプールは共に取れます。

次に外筒・内筒・スプールを机上に並べ安全灯の下か又は全暗黒中でフィルムを取出します。フィルムの尖つた方の端をスプールのバネ⑤の間に、膜面を下にしてスプールの矢印の方向に挿込み、バネから突出した先端は折返し、膜面に指をふれぬ様にして全部巻きつけてしまいます。フィルムの捲かれたスプールを頭部から内筒に挿入し、窓を合せて外筒に入れ、開いている窓からフィルムの端を拾い上げ、5種位引出して、内筒を左に半回転すると、窓は閉じて内筒上部の文字Cは外筒のバネ①の位置に来て止ります。これでフィルムはマガジンに装填されたわけです。

外に出たフィルムの端は5種位外に引出しておきま

す。尚日中装填用（パトローネ）も勿論併用出来ます。



美しい写真はさくらフィルムで

さくらパナクロF フィルム
さくら天然色 フィルム
さくら反転 フィルム

コニカのアクセサリー

—コニカを完全に活用するためには—

フィルターとフード

ネジ込み式のコニカ用コニフィルターは厳密な光学検査をしてありますから、撮影効果を十分に発揮することが出来ます。

コニカ用のコニフードは外部からの反射光防止のため必要であり、特にフラッシュ撮影には是非必要です。

オートアップ

1米から50種迄の接写用補助レンズで、距離計連動でお望みのものをクローズアップ撮影することが出来ます。

コニカ接寫装置

文書や繪畫や花などを35耗の天然色やモノクローム・フィルムに復寫するのに便利です。又教材や研究発表の自作幻燈畫を作る等広範囲に利用されます。

コニスライドプロジェクター II

2"×2"のスライドと35耗の長捲のフィルムの映寫が家庭でも簡単に出来ます。さくら反転フィルムを使ってコニカで撮った幻燈畫を映寫するのには最適です。

コニフラッシュ

コニフラッシュは特にコニカ用として設計され、小型軽量で、取扱いと携帯が極めて容易でしかも作用確実なフラッシュガンであります。テストランプによるフラッシュバルブの断線試験と同調回路の試験の出来ることと、標準プラグによる増燈のできることは、一層フラッシュ撮影の萬全を期してあります。

小西六写真工業株式会社

本社 東京都中央区日本橋室町三丁目一番地

営業所 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌